



令和2年度 4月 園だより

霞ヶ関幼稚園

令和2年4月9日発行



心をつなぐ歌声のひびく幼稚園

園長 小川直美

春の花々が咲き誇る美しい季節となり、令和2年度のスタートです。

昨年度末より、新型コロナウイルスの影響で臨時休園とし、保護者の皆様には多大なるご協力をいただいているところですが、お陰様で3月14日に卒園式を挙行し、卒園生69名を無事送り出すことができました。



さて、本年度は、年長66名、年中58名、年少28名、全園児152名でのスタートです。

保護者の皆様には、お子様のご入園、ご進級、誠にありがとうございます。

霞ヶ関幼稚園は、教育目標を「心をつなぐ歌声のひびく幼稚園」とし、子どもたち一人ひとりを大切に、個性を豊かに育てていきます。

めざす子どもの姿は、「健康で明るい子」「約束を守り友だちと仲良く遊べる子」「思いやり深く心の広い子」「物事に感謝できる心豊かな子」です。

モーツァルト（オーストリアの作曲家 1756～1791）は、「音楽は、世界に魂を与え、精神に翼を与える。そして想像力に高揚を授け、あらゆるものに生命を授ける。」とっております。

この偉大なる先人の言葉からも、日々、友だちと一緒に歌う活動は、歌声のひびきあいが心のひびきあいとなり、あたたかい人間関係をつくり、必ずや、子どもたちの心を豊かに育てていくことと確信いたします。

本来なら、この4月、子どもたちの歓声につつまれ、活気あふれる幼稚園生活の始まりですが、現在、全世界が大変な状況にあり、外出は控え、幼稚園も休園が続くこととなりました。

しかし、このような状態であるからこそ、自分と家族の日々の健康管理に気を配りながらも、子どもたちの明るい将来に思いを馳せ、大人たちがしっかり手を携えてがんばっていかなくてはならない時かと思えます。

各教室から讚美歌や季節の歌を子どもたちが生き生きと歌う声が廊下に響き、ホールでは、全園児で心を合わせて歌う声が高らかに響きわたる日々が、近々やってくることを信じ、職員一同「チーム霞ヶ関」で取り組んでまいります。

保護者の皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。